大工さん育成ガイドブック

（指導棟梁編）



一般社団法人　北海道ビルダーズ協会

目 次

Ⅴ　指導棟梁に必要な準備と心構え

はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

１．背景

⑴大工技能者の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

⑵ＯＪＴとＯＦＦ－ＪＴ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

２．育成環境の整備

⑴新人大工に必要な雇用条件　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

⑵指導棟梁に必要な手当・財務　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

⑶労働環境の整備　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

⑷大工育成のための職場環境　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

⑸大工のキャリア蓄積を大事にする職場づくり　・・・・・・・・・・・・・・ 5

３．育成・指導におけるコミュニケーションの大切さ

⑴育成・指導におけるコミュニケーションの役割　・・・・・・・・・・・・・ 7

⑵コーチングによる指導方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

４．指導棟梁に求められる心構えと知識

⑴指導棟梁としての心構え　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

⑵指導棟梁としての職責　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

⑶指導棟梁として持つべき資格等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

⑷監督者（指導棟梁）として後輩を育てるための知識　・・・・・・・・・・・12

５．現場・職場以外の場を通した大工育成

⑴ポリテクセンター北海道・職業能力開発大学校が実施する研修　・・・・・・・・19

⑵一般社団法人北海道ビルダーズ協会が実施する研修　・・・・・・・・・・・・・20

⑶北海道立高等技術専門学院　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

６．大工さんを支援する様々な組織　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

付　録

■大工さん育成のための参考図書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

Ⅴ　指導棟梁に必要な準備と心構え

はじめに

今から 45 年前の 1980 年、日本の大工さんは 93 万人以上いましたが、それから 40 年経過した 2020 年では 30 万人を切るほど減少しています。

一方、大工職人の高齢化も進み、60 歳以上の大工さんは全体の 43%以上になっており、新しく入職する若手大工も少ないことから日本の大工さんは今後著しく減少していくと予想されます。

減少していく大工職人に対して、老朽化による修繕や建て替えを必要とする木造の建築物は今後も増加していくため、建築大工の減少は大きな社会問題となってくると考えられます。

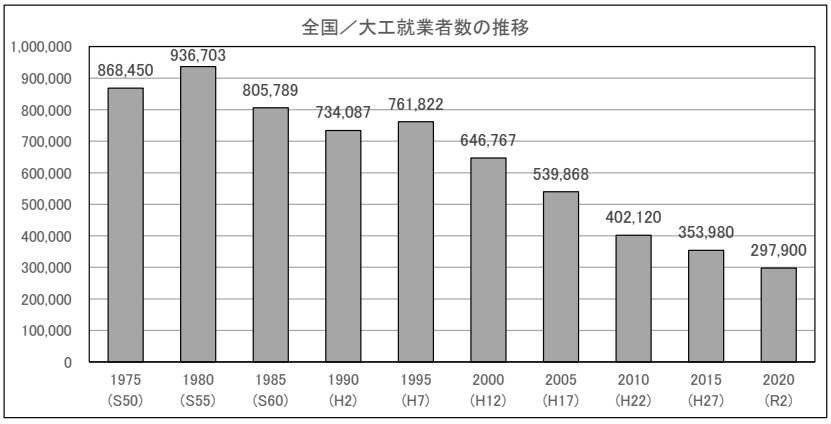
このガイドブックを手に取っていただいたみなさんは、後輩を指導し、育てていくという重要な役割を担っていることと思います。

これまで培ってきた皆さんの技能・技術を、効率的・効果的に後輩に伝え、様々な大工の作業を安全に進めるためにも、会社全体が協力して若手大工さんを育成して行く必要があります。

新卒者を私たちの工務店に社員大工として雇用し、指導する中堅の先輩大工さんや熟練の大工さんと共にチームとなって作業に従事することで、程よい年代差の作業チームができて、円滑な大工の育成が継続的に行えるようになります。

社内に若手の大工さんが増えることで、それぞれの役割分担が広がり、社内の活性化にもつながります。

指導棟梁のみなさんには、このガイドブックによる研修を機会に若手大工さんとの関わり方や、ＴＷＩによる仕事の教え方などを熟知していただき、多くの後輩を育て、会社と社会に貢献していただくことを期待しています。（ＴＷＩ:Training Within Industry(監督者訓練技法)）



3 つのグラフのデータ出典:国勢調査

